

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL  
 ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB  
 CHARTERED IN 2004



THE Y'S MENS CLUB OF ATSUGI  
 4-16-19 NAKACHO  
 KANAGAWA JAPAN 〒243-0018  
 TEL046(223)1441 厚木クラブ会長 川口知幸

2016年7月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第142号

川口クラブ会長 楽しかったと言える1年を！  
 主 湘南・沖縄部部长 あなたが退会しない理由は？  
 東日本区理事 明日に向かって、今日はたらこう  
 題 アジア会長 ワイズ運動を尊重しよう  
 国際会長 私たちの未来は今日

今月の聖句 (キックオフ)

あなたがたは地の塩である。

マタイによる福音書5章13節

ごあいさつ

会長 川口知幸

ワイズに入ってから、間もない私に厚木ワイズメンズクラブの会長という重責を任せられ、心が不安でいっぱいです。でも、この6年間、ワイズのみなさまが私を支え続けてくださったことを思い、みなさまからのご協力のもと、この重責を何とか担うことができるのではないかという気持ちも湧いてきております。

思えば、YMCAとの関わりは2006年の1月にYMCAの事務局により発足いたしました厚木キリスト教会連絡協議会でした。その後YMCA運営委員となり、主の宣教命令をYMCAの中でさらに進めていこうという気持ちで6年前の2月に厚木ワイズメンズクラブのメンバーに加えさせていただきました。この6年間のワイズはほんとうに楽しかったです。もちろん、悩みや困難もありました。でも、いま振り返ると、その苦勞を乗り越えたところにも、楽しさがあつたように思われます。いままでの会長のみなさまが目指してきた厚木ワイズメンズクラブの精神を受け継ぎ、今期もまた、みなさまが「楽しかった」と言える一年にしたいと思っております。ご声援とご協力をよろしくお願いいたします。

例会データ	7月	在籍会員	20人
会員	12人	メイキャッツプ済み	
ビジター	1人	出席率	
ゲスト	人		
合計	13人	60%	

光州YMCAでの一年 あら、まあ~韓国

YMCA ACT 平野絹絵館長



私たちはお隣の韓国についてどの程度知っているのでしょうか？厚木市は韓国軍浦市と姉妹都

市で、石井副会長は両市の交流に尽力しておられ、我々もできることがあればぜひ協力したいと思っています。韓国を知る手初めの勉強に横浜Y一の韓国の平野さんにお話を伺いました。

アンニョンハセヨ、おはようも、こんにちはも、こんばんはもアンニョンハセヨです。横浜YMCAに勤めて4年目、YMCAを退職し日帝時代の韓国の模様をおじいさんおばあさんから直にききたくて、ハングルを覚えるため延世大学語学堂に留学、ホームステイして通学したわけですが、1997年当時の韓国は経済が破綻していて、通貨の価値が半分になる切り下げがあり、大変苦勞しました。

帰国して試験を受けてYMCAに再び就職。

光州YMCAとは1977年から少年サッカーの交流が始まり、2000年双方で研修職員交換が始まり、2011~12年志願して赴任。

光州は全羅南道の中心的都市ですが、韓国の中では差別をいまだにうけている地方で、軍政時代の

1980年には民主化を求めて学生が決起、YMCAはその拠点として戦った歴史があります。国軍に殺された学生数はいまだに確定していませんが想像を超える数の学生が犠牲になっています。

今もなお学校では日本人は鬼か悪魔かといった授業が行われており、そういう時間はあまり日本人には見せたくないようですが、私は日帝時代の実情を調べていたという経験を話し、日帝時代の事蹟見学会にもついていきました。そんな時子供たちが私を氣遣ってそうっと手を握ったりしてくれました。

伊藤博文を暗殺した安重根の顕彰の会にも出席しましたが、やはりいたわってもらいました。

食は光州にありといわれており、食べ物のおいしいところです。ここでは秋毎年世界キムチ祭りというのが行われており、キムチづくりを教えてくださいました。

少年院にも見学に行きました。韓国ではほとんど日本語のありがたいに相当する「コマツスムニダ」という言葉を聞いたことがありませんでしたが、少年院の中ではよくこの言葉をききました。

一般の人にどうしてありがたいと言わないのだと聞いたら親しい人同士では当たり前のことだから言わないとのことでした。



韓国の国花ムクゲ（無窮花）一輪一輪は朝咲き夕散ってゆくが晩夏から秋にかけ次々に花が咲くさまが韓国の倒れては立ち上がる歴史と国民の気性を表すものと言われています。

## 災害復興支援報告

ホサナ保育園 野沢園長



熊本県での災害復興支援活動の一助としてYMCAの益城町の総合運動施設での避難所運営活動のビデオを見ながら報告

を明日は我が身、真剣に傾聴しました。

かって仄聞したことですが、避難所にはいつて始めは仲良く助け合うが、3日もすると隣同士が境界

線でもめだすと。益城町の避難所の和気藹々ぶりこそYMCAの震災救済活動で培われたノウハウのお蔭に違いないと感動しました。

厚木市には1923年の関東大震災で被害の大きかった市の南部には震災の犠牲者追悼の石碑が今もいくつも存在し、「不慮ノ天災ニ備フルノ用意ヲ後世ニ伝ウ」という意味のことが一様に記されていると市の教育委員会の調査報告書に載っているそうですが、天災は忘れたころに来る、今からでも用意怠りなくと思います。

「おにぎりかバナナを送れ」ではなく、三日くらいは持ち寄った食料で自活する避難所ができないのか。YMCA出身の青少年だけでなく、だれでも電気釜も電気もなしで、ご飯が炊けるくらいのサバイバル術をもってほしいとも思いました。

そのための啓蒙運動をクラブの活動の一つの柱として出来ないものでしょうか(田口)

東日本区大会 ホスト 長野クラブ

於 長野市 6月4日~5日



ホストクラブの長野クラブは総勢12人よくぞここまでと素晴らしい大会に感動しました。昨年私どもも経験

があり、場面場面でここは大変苦勞されただろうとご苦勞の程が感じられ、総勢10人一様に感慨を新たにしました。

何時の頃からか徳沢さんのお世話でみんな一緒に新幹線に乗り、同じホテルに泊まり、懇親会のあとはホテルの狭い一室でみんな夜の更けるのも忘れて駄弁り合う大会ツアー。見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵、なんという喜び！来年も川越でもみんな泊りましょう！

## 7月行事予定

☆7月17日(日) 16時~19時

東京多摩南クラブチャーターナイト

於 Conti多摩センター

☆7月27日(水) 厚木クラブ例会

卓話者 奥菌厚木 YMCA 館長